

# SPORTS 若き選手たちの活躍光る

全国少年少女レスリング選手権  
小学2年生26キロ級 3位入賞

倉本 <sup>だい き</sup>大輝君 (山田南小2年)



倉本君＝中段左から3番目＝と入賞を祝福するメンバー

7月28日から30日まで新潟県新潟市で開催された全国少年少女レスリング選手権に山田レスリングスポーツ少年団の子供たちが出場し、小学2年生26キロ級で倉本大輝君＝境田町＝が3位入賞を果たしました。

「家族や家を失った子供たちが多くとても練習ができる状態ではなかった」とコーチの上野三郎さんが話すように、環境や子供たちの様子から一時は出場をあきらめかけたことも。しかし、ボランティアで訪れた東京のレスリングチームが会場への支援を申し出て、チームを挙げての出場が実現しました。

倉本君は、緊張からか初戦をなんとか接戦で勝利。その後は緊張もほぐれ、本来の実力を出し切り、見事3位入賞を果たしました。倉本君は「いっぱい練習することができ、入賞できてうれしかった。もっと強くなりたいです」と、一緒に練習を重ねた仲間たちに囲まれ笑みを見せてくれました。

北東北インターハイ ヨット競技  
男子F J級ソロ 4位入賞

小林 <sup>りゅうせい</sup>竜成君 (宮古高3年)



技術に磨きをかけ国体での優勝を誓う小林君

8月17日から20日まで秋田県由利本荘市で行われた北東北インターハイヨット競技男子F J級ソロで、宮古高校の小林竜成君＝山田＝と三浦幸也君＝宮古市＝ペアが4位入賞を果たしました。

同高校のヨット部は、津波でヨットや練習道具など流されてしまいましたが、全国からの支援を受けて活動を再開。本格的な海での練習は6月に入ってからと大会に向けての体制は厳しい状況でしたが「練習が出来なかったハンデは考えないようにして、大会へ挑みました」と小林君は話します。

迎えた大会本番、7レースの合計得点で順位を競う同競技には全国の水域を勝ち抜いてきた66艇が出場。小林・三浦ペアは冷静な状況判断で上位でのフィニッシュを重ね、堂々の4位入賞。小林君は「着順によりメダルを逃したので悔しい。最後の大会である国体では優勝を掴み取りたい」と意気込みを話してくれました。

## 町長室から

タレントの山田邦子さんが「山田」の名前を縁にして本町に支援活動を継続されておりますが、今度は「私の“ふるさと”と呼ばせてください」と、仲間の皆さんとともに「スター混声合唱団コンサート」を開催していただきました。会場の中央公民館は8月末まで支援物資の集積場となっておりましたが、町内の避難所が閉鎖されたことから整理が進み、震災後の公演となったものです。9月14日、会場には800名のお客様が入場して超満員となり邦子さんの軽妙な司会によるコンサートを楽しみました▼山田高校の吹奏楽部も共演しましたし、同校の生徒たちは仮設住宅にチラシの配布も行いました。当日、全校生徒が鑑賞の予定でしたが、一般のお客様まで一杯になったことから自主的に入場を辞退する一幕もありました▼邦子さん、山田町を「ふるさと」と呼んでください。

山田町長 沼崎 喜一